

令和8年度 国語科 第1学年 年間指導評価計画

作成者 遠山 理世子、秋田 恵美子

観点: I (知識・技能) II (思考・判断・表現) III (主体的に学習に取り組む態度)

月	単元	学習内容	教材名	時数	観点			評価規準
					I	II	III	
4	一	詩	朝のルー	2	○	○	○	音声の働きや仕組みについて理解できる。
4		詩	野原はうたう	2	○	○	○	音声の働きや仕組みについて理解できる。
4		小説	はじまりの風	4	○	○	○	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化を捉えられる。
4		話す聞く	話の構成を工夫しよう	4	○	○	○	相手の反応をふまえながら自分の考えが分かりやすく伝わるよう工夫できる。
4	二	言葉	漢字の組み立てと部首	2	○		○	漢字の組み立てや部首について理解できる。
5		説明	ダイコンは大きな根?	4	○	○	○	情報の整理の仕方、引用の仕方について理解を深める。
5		説明	ちよつと立ち止まって	4	○	○	○	事実と意見との関係について叙述をもとに捉えることができる。
5	書写	言葉	指示する語句と接続する語句	2	○		○	指示する語句と接続する語句の役割について理解できる。
5		詩	空の詩 三編	4	○	○	○	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。
6	三	言葉	比喩で広がる言葉の世界	4	○	○	○	比喩・反復・倒置法などの表現の技法を理解し、使うことができる。
6		文法	文法への扉1(言葉の単位)	4	○		○	単語の類別について理解できる。
6		書く	◆情報収集の達人になろう	2	○	○	○	目的に応じて集めた情報を整理し、伝えたいことを明確にできる。
6		読書	読書を楽しむ(読書感想文)	2	○			読書が知識や情報を得たり、考えを広げたりすることに役立つことを理解する。
7		読書	本の世界を広げよう	1	○			読書が知識や情報を得たり、考えを広げたりすることに役立つことを理解する。
9	四	小説	大人になれなかった弟たちに…	6	○	○	○	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化を捉えられる。
9		小説	星の花が降るころに	5	○	○	○	目的に応じて描写を結び付けたり、要約したりして内容を解釈できる。
9		言葉	方言と共通語	2	○		○	共通語と方言の果たす役割について理解できる。
9		漢字	漢字の音訓	1	○		○	漢字の音読みと訓読みについて理解できる。
10	五	説明	言葉をもつ鳥、シジュウカラ	5	○	○	○	文章の構成や展開について根拠を明確にして考えることができる。
10		書く	★根拠を明確にして書こう	5	○	○	○	根拠を明確にしながらか自分の考えが伝わる文章になるよう工夫できる。
10		文法	文法への扉2 文の組み立て	4	○		○	単語の類別について理解できる。
10		詩	大阿蘇	1	○	○	○	事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。
11	六	古典	いろは歌	3	○	○	○	音読に必要な文語の決まりや訓読の仕方を理解できる。
11		古典	蓬萊の玉の枝「竹取り物語」から	6	○	○	○	音読に必要な文語の決まりや訓読の仕方を理解できる。
11		漢文	今に生きる言葉	4	○	○	○	音読に必要な文語の決まりや訓読の仕方を理解できる。
12	七	説明	「不便」の価値を見つめ直す	4	○	○	○	文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをもつことができる。
12		話す聞く	話題や展開を捉えて話し合おう	4	○	○	○	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。
12		読書	研究の現場によこそ	4			○	読書が知識や情報を得たり、考えを広げたりすることに役立つことを理解する。
12	書写	毛筆		8	○		○	書き初めの作品に積極的に取り組むことができる。
1	八	小説	少年の日の思い出	6	○	○	○	場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化を捉えられる。
1		文法	文法への扉3 単語の分類	4	○		○	単語の類別について理解できる。
1	書写	毛筆		4	○		○	書き初めの作品に積極的に取り組むことができる。
2	九	随筆	二十歳になった日	4	○	○	○	事象や行為、心情を表す語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。
2		書く	構成や展開を工夫して書こう	5	○	○	○	書く内容の中心が明確になるよう、段落の役割を意識して書くことができる。
2		漢字	漢字に親しもう	1	○		○	漢字について理解を深めることができる。
2	書写	硬筆		4	○		○	文字の大きさに留意して丁寧に書くことができる。
3	十	漢字	漢字の成り立ち	1	○		○	漢字の成り立ちについて興味をもって調べ、理解することができる。
3		詩	ぼくがここに	2	○	○	○	比喩・反復・倒置法などの表現の技法を理解することができる。
3		文法	文法のまとめ	2	○		○	単語の類別について理解できる。
3	書写	行書	硬筆	4	○		○	文字の大きさに留意して丁寧に書くことができる。

時数 計 140